



# くまのみ通信

中谷外科病院の理念—患者様とともに歩む

-中谷外科病院広報誌-



今年は今環日食や金星の日面通過など数々の天体ショーがあり、日食グラスを持って鑑賞された方もたくさんいるのではないのでしょうか。また6月から大型台風や大雨による被害が出ています。いつどこで被害に遭うかはわかりません。常日頃から防災意識を持ち備えていきましょう。暑さ負けず『くまのみ通信27号』を元気にお届けします。



## 「開院46周年を迎えました」

ロンドンオリンピックのアスリートや高校野球球児のひたむきな姿は私たちに強い感動を与えてくれます。そんないつもよりも熱い、暑い夏、8月1日に中谷外科病院は46才の誕生日を迎えました。



開院当初の白黒写真(右上)を眺めていると、これまで当院を支えてくれた多くの患者様とご家族、そして当院職員に対する感謝の気持ちがわき上がってきます。

医療・福祉を取りまく環境は年々厳しさを増し、各医療機関はそれぞれの役割分担を明確にするよう求められています。45床の小規模病院である当院でも、どうあることが患者様、地域社会のためになるのかを常に自問自答しています。

当院では「患者様とともに歩む」ことを理念とし消化器内視鏡、大腸肛門病の専門性を生かしながら、常に患者様の立場に立ったチーム医療を実践するよう努めています。また地域の基幹病院、療養型病院、診療所、各種福祉施設と緊密に連携し、在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行っていきます。そして当院スタッフ一同はお互いの和を大切に、思いやりのある医療を一人一人の患者様に提供してまいります。

これからも変わらず皆様方のご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年8月

中谷外科病院 院長 中谷紳

## 第50回 岡山ストーマリハビリテーション研究会



日時:平成24年5月27日(日) 9:00~14:00

会場:岡山大学創立五十周年記念館 多目的ホール  
(岡山市北区津島中1丁目1番1号)

当院から「ストーマケアに苦慮した3症例」を三宅隆子(日本褥瘡学会認定看護師)が発表しました。本症例発表により、ストーマリハビリテーションへの認識を新たにすることができました。

これからも、ストーマや創傷のケアに、力を入れて行きたいと思えます。

看護師長 新田照美

## 自然災害対策講座と救命処置講座

6月14日(木)に、玉野市消防本部伊東文男消防司令長による自然災害対策講座と八浜消防署員の方々による救命処置講座が開催されました。

自然災害対策講座では、地震と津波による大規模災害の対策のお話を聞き、今後も防災意識を持ち日常生活を送っていきたく思いました。また救命処置講座では、胸骨圧迫による心肺蘇生と、AEDを使用した心肺蘇生法を学び、仕事にも活かしたいです。



## 特別養護老人ホーム「いこい荘」夏祭り

当院の関連施設であるいこい荘にて7月28日(土)夏祭りが開催され、院長もバンド演奏でがんばりました。大勢の方々に参加いただき、楽しい一時を過ごすことができました。



Nakatani surgical hospital



第27号  
2012. 8月発行

発行元  
医療法人吉備会  
中谷外科病院  
患者サービス向上委員会  
委員長 中谷紳

〒706-0001  
玉野市田井3-1-20  
TEL 0863-31-2323  
FAX 0863-31-8486  
ホームページ <http://www.nakatani-hosp.jp>  
Eメール [Goiken@nakatani-hosp.jp](mailto:Goiken@nakatani-hosp.jp)

診療受付時間  
月~金 9:00~12:00  
15:30~18:30  
土 9:00~12:00

### <中谷外科病院の 基本方針>

I:常に患者様の立場に  
立ち、行動する。

I:消化器内視鏡、大腸  
肛門病の専門病院として  
最新・最善の医療を提供  
する。

I:多職種間によるチ  
ーム医療の充実をはかる。

I:在宅復帰を支援し、  
社会に開かれた地域  
医療を行う。

I:職員同士の和を重視  
し、思いやりのある医療  
を実践する。



# 平成24年度 摂食嚥下に関する調査 結果

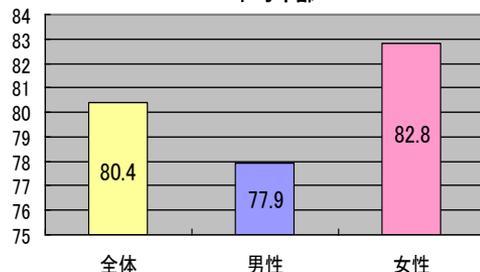


平成24年3月26日から5月25日まで管理栄養士により、患者さまの食べる機能について調査を行いました。

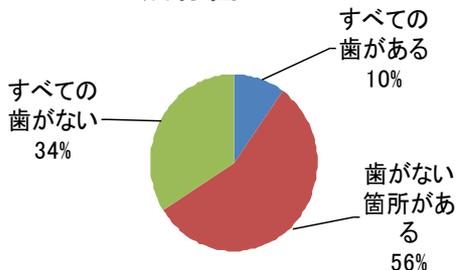
## <患者さまの内訳>

男性：24名、女性：26名、合計50名

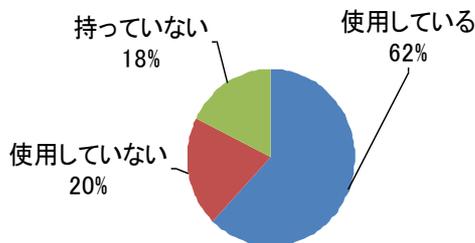
平均年齢



## <残存歯について>

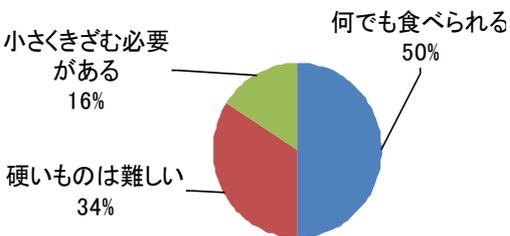


## <入れ歯について>

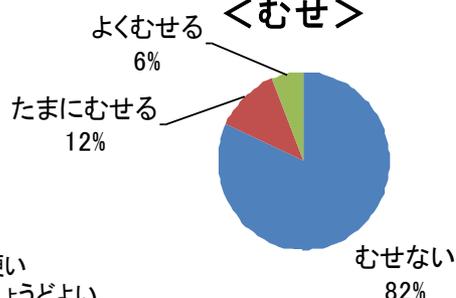


回答数：45名(歯の欠損がある方のみ)

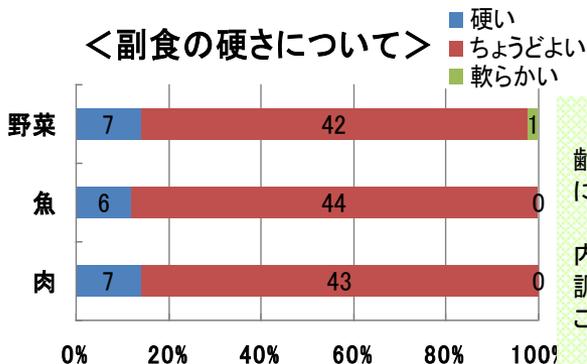
## <嚥むことについて>



## <むせ>



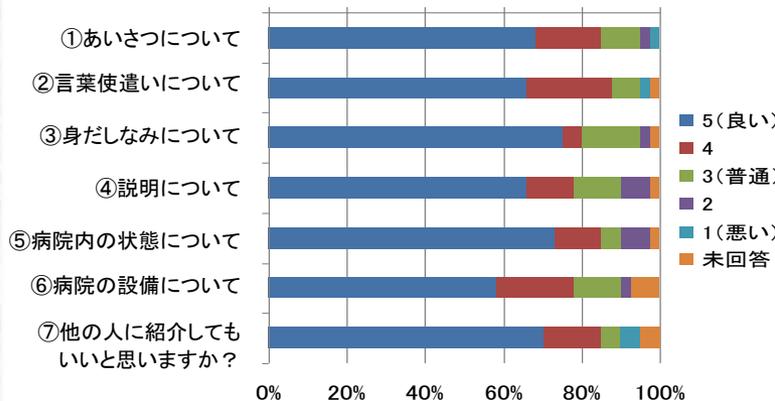
## <副食の硬さについて>



今回ご協力いただいた患者さまの平均年齢は80歳を超えており、約9割の方が「歯」に関するトラブルを抱えておられました。当院でも病状や食べる機能に応じて食事内容を調整させていただいておりますが、この調査を元に今後も美味しく安全な食事をご提供できるよう努めていきたいと思っております。  
(管理栄養士 松本 英子)

# 入院満足度アンケート結果

- 実施期間・・・平成24年6月11日～7月10日
- 対象者・・・入院中の患者、家族(回答できる方に配布)41名



当院では、接遇研修等を繰り返し実施しており、今後も患者様から頂いた評価が高まるよう努力して参ります。説明の仕方についてはチェックリストを作成するなどして、患者様の立場に立った実施を心がけて参ります。設備面に関しては、改善出来るものから早急に取りかかり、少しでも入院生活を快適に過ごしていただけるよう努力いたします。ご協力ありがとうございました。

(患者サービス向上委員会 西田 寛規)

## 第7回 スタッフのひとりごと

学校を卒業し、親元を離れ、初めてづくしの社会人。社会人最初の職は、福祉関係の営業職。不安だらけの私を支えてくれたのは、会社の上司や同僚、お客さん達でした。それから10年後、私は病院の医療相談員になり、その頃のお客さん達に、仕事を教えてもらったり、相談にのってもらったりしている。営業中怒らせてしまったお客さんが『遊び仲間』になっている。また母になり、お客さんが『ママ友』になっている。人生ってホント不思議ですね。私達はそういったご縁の中で生きているんだなとつくづく感じます。今、幸いな事に人と関わる仕事をさせていただいています。どんな小さな出会いでも大切にしていけたらいいなあと思います。

(医療相談員 山崎 早苗)